



日本共産党 市会議員

たまもと

玉本なるみ

玉本なるみ   

プロフィール

52歳、市議4期。京都大学医療技術短期大学部看護学科、府立保健婦専門学校卒業。北病院就職。葵会訪問看護ステーション所長、葵会京都市在宅介護支援センター所長を歴任。趣味:和太鼓、エイサー踊り、クラリネット

私の決意

16年前の介護保険制度導入前に、もっと介護や医療の現場の声を市政に届けたいと決意し、政治の世界に飛び込みました。安倍政権は、4月から利用者にはサービスの切り捨て、事業所にとって、運営が厳しくなる制度改悪をしようとしています。安心して受けられる医療や介

護の制度にするため頑張ります。

また、子どもの貧困が社会的問題となっています。住む地域や親の経済力の問題で、子どもが夢や希望を失うことはあってはならない！子どもの未来のために行動する議員であり続けたいと決意しています。

看護師として
向き合ってきた
命の大切さ…
市会議員の私の原点です。

住民の皆さんとスクラム組んで 実現に全力!

北部土木事務所へ申し入れ。右から浜田、玉本、井坂

◆ 住民要求を申し入れ

共産党として、昨年に、北区の皆さんにお願いした住民要求アンケートには約700通の返信をいただき、地域や私達への要望がぎっしり書かれていて感動しました。

北部土木事務所、北警察署、京都市交通局に要望を申し入れに行きました。さっそく、北部土木事務所からは、カーブミラーの設置や公園のベンチの改善、滑りにくい溝蓋への交換などの回答をいただき

ました。すぐには改善は困難なことでも、引き続き運動も含めて、市民の皆さんと一緒に取り組んでいきます。実感するのは、生活道路の整備や交通安全対策に対する予算が少なすぎるということです！議会でも予算の確保に向けて、しっかりと取り組んでいきます。



◆ 「バスを走らせてほしい」の願いが実現!



西賀茂北部の柵野学区は、市バス路線がなく、西賀茂車庫からのバス路線の延長は悲願となっていました。地元の自治連合会や「バスを走らせる会」などの団体からも署名活動や行政への要望を長年取り組まれる中で、2014年3月22日

から、ついに『特37号』が走り出しました。私も、議会で繰り返し、バス路線の延長を求めてきました。さらなる路線延長や増便などの要望の実現に向け、引き続き取り組んでいきます。原谷や鷹峯、柵野等の地域の利便性向上にも頑張ります。

◆ 美しい賀茂川上流の環境保全を!

賀茂川の上流では、産業廃棄物が長い間置き去りになっていたり、違法な建築物を建てようとしてきたり

環境保全の取り組みを進めてきました。産廃施設が現在ない中で、厳しい規制をかけ、美しい賀茂川を後世に残せるよう取り組んでいきます。

◆ 御園橋の架け替え計画

私は議員になる16年前より、「歩行者が安全に渡れない橋」の改善を求めて地域住民の皆さんと一緒に運動を進め、議員になってからは議

会で架け替えを提案して来ました。現在、詳細設計を行っており、完成は2023年度末の予定です。安全なまちづくりに引き続き頑張ります。



玉本さんに期待します!

東日本大震災後、一緒にボランティア活動に行きましたが、どんな人も助けたいという思いで、走り回ってくれる人です。地域や保育のことで、いつも耳を傾け、熱心に取り組んでくれます。私たちの代表としてこれからも頑張ってください。

日下部 未樹 さつき保育園保育士

